

第5弾

ムーブメントプレパレーション

～より効果的に実施するために～

NFAフィジカルフィットネスプロジェクト



ムーブメントプレパレーションの目的
安定性と可動性を出すことでパフォーマンス向上につなげる

『 障害予防とパフォーマンス向上に関与することが報告されている。』

ところが……

県トレセン活動をみると**グラグラしたり可動域が出来ない選手が多い**

そこで

効果的にするために5つのポイント

紹介していきます

5. 手だけでなく胸からひねる

④ バックランジローテーション

目的

体幹の安定性
腸腰筋、大胸筋の柔軟性
大腿四頭筋、臀筋の活性化
バランス能力の向上

コーチングポイント

- 足幅は腰幅とする
- 足部は正面を向け、膝が内側に入らないようする
- 後ろの膝は地面につけない
- 前足を逆側の手で前足の外側をおさえ
る（手を押して膝が内側に入らないよ
うにする）
- 後ろの臀筋を締める
- 体軸を中心に上半身を回旋させる



①



②

左右各3~6回

目線を指先に向ける
と胸がひねりやすい



よくあるエラー



体でひねらず
手だけでひねる

